

令和7年度第2回 地域連携推進会議 議事録

開催概要

- 日時: 令和8年2月14日(土) 10:00~12:00
- 場所: 太陽の郷 作業場
- 参加者: 地域関係者、福祉関係者、行政担当者、利用者ご家族、利用者ご本人、法人職員 計16名

対象施設

- 指定障害者支援施設「姫路暁乃里」
- 共同生活援助「チャレンジ」

会議の流れ

開会挨拶・趣旨説明

統括施設長より開会の挨拶があり、法人課長より本日の流れと会議の目的について説明が行われました。

会議目的として、以下の4点が共有されました。

1. 利用者と地域の関係づくり
2. 地域の人への施設・事業所への理解促進
3. 施設・サービスの透明性と質の確保
4. 利用者の権利擁護

構成員紹介

地域住民、福祉関係者、行政担当者、ご家族、利用者ご本人より、それぞれの立場から挨拶がありました。

- 地域住民からは「今回も意見交換ができれば嬉しい」との声。
- 福祉関係者より「他施設を知る機会として学びたい」との意見。
- 行政担当者より「地域住民としての視点も踏まえて意見交換したい」との発言。

- ご家族からは「穏やかに生活できており感謝している」との声。
- 利用者ご本人からも近況や思いが共有されました。

法人・事業所報告

法人、チャレンジ、姫路暁乃里より、資料に基づき以下の報告が行われました。

- 法人の現状と今後の方向性
- 地域生活支援拠点としての役割
- 障害福祉サービスの概要と支援内容
- 緊急短期入所の受入れ状況
- 地域相談窓口の取り組み

質疑・意見交換

会議後半では、地域住民・行政・福祉関係者・利用者ご家族から、多様な意見が交わされました。

- **就労系サービスの違いについての質問**

就労移行支援、A型、B型の違いについて、行政担当者より説明があり、理解促進につながりました。

- **地域連携の方向性について**

地域住民より「地域にどう関わってほしいのかが見えにくい」との意見があり、法人側より「今後は明確化を進めたい」と回答がありました。

- **他施設の地域連携の事例紹介**

福祉関係者より、過去の地域交流（祭り、学校との連携、ボランティア活動など）の紹介があり、地域交流縮小傾向の課題も共有されました。

- **地域住民の高齢化と自治会加入率の低下について**

地域住民より「押しつけにならない関係づくりが必要」との意見がありました。

- **五倫会としての地域貢献の可能性**

- 公園整備や除草作業の協力
 - 公民館での講座開催
 - 地域サロンへの参加
 - 民生委員活動のサポート
- など、地域との協働の可能性が意見交換されました。

- **地域交流の現状と課題**

「近所付き合いが減ってきている」「世代間でのコミュニケーション方法が変化している」など、地域全体の課題も共有されました。

- **今後の構成員について**

統括施設長より「令和 8 年度も継続して参加いただきたい。2 年を 1 期として考えたい」との提案がありました。

閉会挨拶

統括施設長より「設備だけではなく人材も地域資源として活用し、地域とともに歩む法人を目指したい」との挨拶があり、閉会しました。

まとめ

本会議では、地域・行政・福祉関係者・利用者・ご家族が一堂に会し、地域連携の現状と課題、今後の可能性について多角的な意見交換が行われました。

今後も地域とのつながりを深め、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。